

3 (a)

$$A = \begin{bmatrix} a_1 & & 0 \\ & \ddots & \\ 0 & & a_m \end{bmatrix}$$

$a_1 \neq 0, a_2 \neq 0, \dots, a_m \neq 0 \Leftrightarrow A$  は逆行列を持つ

また  $a_1 \neq 0, a_2 \neq 0, \dots, a_m \neq 0$  とする。このとき、

$$B = \begin{bmatrix} \frac{1}{a_1} & & 0 \\ & \ddots & \\ 0 & & \frac{1}{a_m} \end{bmatrix}$$

が成り立つ

$B$  は  $A$  の逆行列  
となる

これを示すには、

$$\underline{AB = BA = E \text{ を示せばよい}}$$

特に  $a_1, \dots, a_m$  のどれかがゼロならば  $0$  である

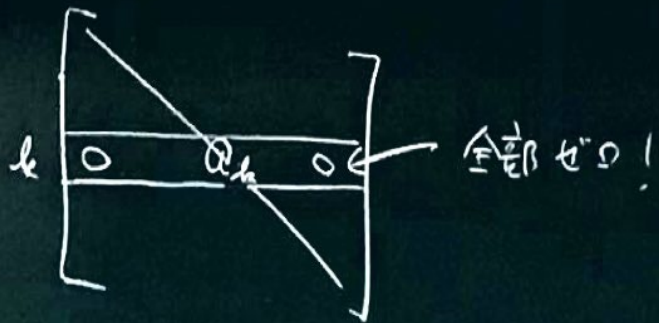
$A$  は逆行列を持たないことを示す。

たとえば  $1 \leq k \leq m$  かつ  $a_k = 0$  とする。このとき

$$B \text{ を } m \times m \text{ 行列として } B = [b_{ij}]$$

仮定から  $A$  の  $k$  行の成分はすべて  $0$  である

$$\therefore \text{このとき } AB \text{ の } (k,k)\text{-成分は } \sum_{j=1}^m a_{kj} b_{jk} = 0$$



特に  $AB \neq E$  である。

$B$  は任意だから  $A$  は逆行列を  
持つ存在しない。

(b) エント

$A$  は逆行列  $A^{-1}$  を持つから

$UA^{-1}U^{-1}$  は  $U^{-1}AU$  の逆行列 である。

よって  $U^{-1}AU$  は逆行列  $B$  を持つから、

$UBU^{-1}$  は  $A$  の逆行列 である。

(c) :  $A$  が  $2 \times 2$  行列? 固有値が  $2$  と  $3$

$2 \neq 3$  とあるときは 補題 4.3 による

$u_1, u_2$  を  $A$  の固有ベクトルとすると,

$U = [u_1 \ u_2]$  とし,  $U$  は可逆?

$$U^{-1}AU = \begin{bmatrix} 2 & 0 \\ 0 & 3 \end{bmatrix} \text{ とある.}$$

このとき (a) より,  $U^{-1}AU$  は可逆

したがって (b) より  $A$  は可逆である.

(d) :

$$\begin{bmatrix} a_1 & 0 \\ 0 & a_2 \end{bmatrix}^m$$

問題  $A$  を正方行列とし

$A^2 = A$  のとき  $A$  の固有値

は  $1$  又は  $0$  であることを示せ

$$\begin{bmatrix} a_1 & 0 \\ 0 & a_2 \end{bmatrix} \begin{bmatrix} a_1 & 0 \\ 0 & a_2 \end{bmatrix} = \begin{bmatrix} (a_1)^2 & 0 \\ 0 & (a_2)^2 \end{bmatrix}$$

問題  $A$  が  
可逆な正方行列?

$A^2 = A$  のとき

$A = E$  とあることを

示せ

...

$$\begin{bmatrix} a_1 & 0 \\ 0 & a_2 \end{bmatrix}^m = \begin{bmatrix} (a_1)^m & 0 \\ 0 & (a_2)^m \end{bmatrix} \text{ とある.}$$

LT=A, ?

$$\left( U^{-1} A U \right)^m = \begin{bmatrix} (a_1)^m & 0 \\ 0 & (a_2)^m \end{bmatrix}$$

$$\underbrace{U^{-1} A U}_{E} \underbrace{U^{-1} A U}_{E} \dots \underbrace{U^{-1} A U}_{E}$$

m回

$$= \underline{\underline{U^{-1} A^m U}}$$

この両端に左がU右がU<sup>-1</sup>をかけるよ。

LT=A, ?  
3. (a) 行

$$A^m = \underbrace{U U^{-1}}_E A^m \underbrace{U U^{-1}}_E = U \begin{bmatrix} (a_1)^m \\ (a_2)^m \end{bmatrix} U^{-1}$$

4. Aの対角化は

$$\begin{bmatrix} 1 & 2 \\ 1 & 1 \end{bmatrix}^{-1} \begin{bmatrix} 1 & 0 \\ 0 & -1 \end{bmatrix} \begin{bmatrix} 1 & 2 \\ 1 & 1 \end{bmatrix} \text{ である。}$$

"U"

$$A^m = \begin{bmatrix} 1 & 2 \\ 1 & 1 \end{bmatrix}^{-1} \begin{bmatrix} 1^m & 0 \\ 0 & (-1)^m \end{bmatrix} \begin{bmatrix} 1 & 2 \\ 1 & 1 \end{bmatrix}$$

例:  
mが偶数のとき  
A^n = ...  
奇数のとき  
A^n = ...